

米軍機くるな！雨の中 50 名が百里基地に抗議行動

10月2日から9日 日米共同軍事訓練はじまる

百里基地反対同盟や平和委員会・茨城労連・新婦人・農民連・憲法ネット・茨商連・救援会などで構成する「米軍機くるな、茨城実行委員会」は2日、百里基地正門前で抗議行動を行う一方、7名の代表が基地内に入り北沢俊美防衛大臣あての申し入れ書を手渡ししました。この日は大内・山中県議員も参加し共産党も申し入れ書を渡し行動をとりました。

基地側との話し合いでは「申し入れ書」の趣旨に沿って行いました。とくに、①米兵の不祥事が起こらないよう万全策をとること。もし起こった場合は「地位協定」によって特別扱いせず日本国の法律で裁くこと。（米軍の方で対策することであると回答）②訓練実施の新滑走路は悪天候の場合、「安全誘導装置」の計器がない。実施するのか？（その時は実施しない。また夜間訓練はしないと回答）③期間中、騒音調査を行なうのかの問いにはあいまいな返答。



百里基地正門前。雨の中、ごくろうさまでした。

北沢俊美防衛大臣殿

2009年10月2日

米軍機くるな、茨城実行委員会

日米共同軍事訓練中止を求める申し入れ書

マスコミは10月2日～9日の間、米軍嘉手納基地の第18航空団F15戦闘機と航空自衛隊第7航空団が百里基地で3回目の日米共同訓練をおこなう事を伝えた。

この事は戦闘機訓練の危険さ、異常な騒音、米兵の不祥事への不安など地元県民に大きな不安を与えるものである。また発足間もないとは言え、アメリカ一辺倒の自民党政権から鳩山内閣が誕生したことで日米安保条約、とくに「日米再編」・基地問題が改善されると期待した国民の気持ちを踏みにじるものである。

そもそも日米共同軍事訓練はソ連崩壊後、唯一の軍事・政治・経済大国になったアメリカの世界戦争戦略の一貫として実施されたもので、言わば冷戦時代の産物である。アメリカ国民は「対話と協調」をモットーとする、オバマ大統領を選出し、今や、アメリカ自身によって、見直し・廃止に向かっているものである。

私たちが鳩山内閣に強く要請するのは、今こそ日米安保条約中心の政治から日本国憲法に基づく政治への転換である。その矢先の今回の日米共同軍事訓練は許しがたく、怒りをもって抗議するものである。

以下、つぎの項目について申し入れをします。

記

1. 「防衛」という名のもとで、実際はアメリカの戦争協力のための日米共同軍事訓練は「戦争する国」への自衛隊強化である。日本国憲法と相いれないものであり、中止を求めるものである。
2. 今回の「共同軍事訓練」を具体的に取り決めた、日米安全保障協議委員会の「再編実施のための日米ロードマップ」（2006年5月）の見直し・廃止をアメリカ当局に申し入れること。
3. 騒音・事故の危険・生活不安など地元県民への不安を万全の策をもって解消すること。

12月8日朝日新聞意見広告掲載賛同のお願い

核兵器のない世界平和を！ 県民にアピールしよう

県民への宣伝行動の一貫として毎年、新聞意見広告を掲載しております。9月の第2回理事会で以下のとおり決めました。各平和委員会で取り組みを強めていただけるようお願いいたします。

1. 日時：09年12月8日（12月8日は太平洋戦争勃発日）
2. 掲載紙：12月8日付朝日新聞朝刊 3分の1の大きさ
3. 内容は憲法を活かす立場から核兵器廃絶を中心に安保・基地問題などを検討します。
4. 賛同費は個人1人・1口 1000円 団体は1口・3000円
5. 第1次締切日は11月30日、最終締切日を12月7日。
6. 紙面の都合上、団体・個人の名前は掲載できませんが後日、意見広告と名前のお渡しをします。今年からは団体名は名刺広告のようにマス枠で目立つようにします。
7. 申込み先：各平和委員会（平和の会）ないし県平和委員会へお願いします。

〒310-0912 水戸市見川5-127-281
TEL 029-251-2806

8. 各平和委員会へのお願い：個人賛同の目標は昨年以上とします。意見広告の経費を差し引いた収益は平和委員会の活動を支える経費に当てられます。よろしくご協力をお願いします。

平和かわら版

No. 544

平和新聞茨城版

2009.10.5

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



夏の「戦争と平和」展 みんなで頑張りました

今年の戦争と平和を考える特別旬間は県内20ヶ所で開催され、昨年の倍になりました。それだけに多種多様でバラエティーに富み、多くの成果と教訓を生みました。

1. 特徴的な内容。

○城里町では、新婦人の森嶋さんがひとりで町と話し合い、役場のロビーでやりますから「伊達さん、1日だけ今年もやりますから原爆と沖縄の写真貸してください」と連絡が入りました。女性4人で実施。

○取手では、1日の「平和のつどい」を朝10時から夜8時まで実施。内容も朗読・紙芝居・折り紙・戦争体験者の話・すいとんあり最後はみんなでうたごえ、と盛りだくさんで好評。

○土浦では、15年以上前から「実行委員会」で実施。「原爆と人間展」と15日は「靖国」を上映。

元市長が実行委員長となり幅ひろく市民に訴えている。市・教育委員会も後援。

○旧友部町では、「精一杯みんな頑張ったけど、展示物が少しくなかつたかな。来年はもっといいものをやろうよ。2週間は力量的にちょっと無理だったな」

○北茨城では、高さ1メートルぐらいの風船爆弾の模型を作成したり風船爆弾のビデオを流して参加者への気配りは好感がもてた。また、市内4ヶ所×3日間の12日間の成果はみんながよく話し合い準備万端の賜物であった。

○阿見町は50数枚の展示写真や1日中ビデオを上映。水戸西でも展示期間中に戦争体験者の話を聞くコーナーなどを設けた。

2. 主催団体も、平和委員会・9条の会・「つどい実行委員会」・共同主催など条件に合わせたやりかたでよかった。また、守谷町・阿見町・土浦市・潮来市で自治体や教育委員会の後援をいただいたのは今後の取り組みにとって大きな成果であった。

3. 今後の戦争展については、(1)これまで原爆・東京大空襲・沖縄戦が中心で、ついで茨城に関しては風船爆弾・茨城の特攻基地・茨城の空襲・満蒙開拓などであった。また、ここ2~3年、シベリヤ抑留展が展示されはじめた。
(2)これからは、戦争という名において国家間でやる人殺しがどん

なに恐ろしいものか、平和を誓う証しとしてその実相を伝えていくことが大切である。これまでのものに他に羅列すれば日本の戦争だけでもつぎのようなものがある。

①南方には日本人だけでも110万もの人骨がそのまま野ざらしにされている。現地には人を含めればどれだけになるのかわからない。犠牲者の御霊は浮かばれない。靖国参拝する前にやるべきことを政府に訴えるためにも戦争の傷跡を知らせたい。

②南方戦線での戦死者は7割が戦闘でなく食糧なくしての餓死である。ニューギニア・ガダルカナル・インパール作戦など。また、イギリス兵捕虜を10万人以上の犠牲者の上に造られたビルマ・タイの間の泰緬鉄道の実相。

③中国における生きた人間をメスやノコギリで切り刻んだ、731部隊の生体解剖。チフス菌を空から無差別にばら撒いた事実。

4. 戦争というむごたらしい殺し合いは正常な人間の精神状態では決して出来るものではない、という事。そして何千万という犠牲者の上に「戦争放棄」を宣言した日本国憲法があり、それを大切にしなければならない。私たちはそのために「戦争と平和」展を開き一人でも多くの知って貰いたいということを確認したい。春の5・3憲法フェスティバル、夏の戦争と平和展と精一杯頑張ってきました。みんなで喜び合いたいと思います。そして、さわやかな気持ちで秋の宣伝行動に取り組みましょう。
(伊達)

<米軍機くるな、茨城実行委員会事務局会議>

横田米軍基地視察ツアーなどを検討

9月30日 米軍機くるな、茨城実行委員会の事務局会議が開かれました。話し合い事項には予定されていませんでしたが、急遽10月2日に日米共同軍事訓練が実施されるということで対応策も討議しました。出席団体は平和委員会・茨城労連・高教組・新婦人、欠席団体は憲法ネット・民青同盟でした。以下、要約を報告します。

1 日米共同軍事訓練について

(1) 防衛大臣あての「申し入れ書」を検討作成。(かわら版表面に掲載)
(2) 緊急であるが各団体は参加者を呼びかけ、10月2日11時に百里基地正門前に集り抗議行動を行う。(50名参加)

2 米軍機くるな、茨城実行委員会の組織的性格と今後の運動の方向：この議題については平和委員会の理事会で検討された案を次のとおり提案しました。

(1) 「実行委員会」は05年10月に「日米再編」の中間報告が国民に寝耳に水で発表され、百基基地でも日米共同軍事訓練を行うと入っていました。県内騒然となり、急遽平和委員会と反対同盟が、「米軍F15戦闘機訓練移転反対」の一点で行動を呼びかけ結成されました。そして翌2月25日の旧小川町での1000名集会やその後の運動に発展していきました。

(2) 翻って現在の平和をめぐる状況の特徴は、憲法改正の政治日程を引きずり下ろした今、憲法守れから「憲法を活かす」運動に前進しています。この「憲法を活かす」取り組みで最大の課題は日米安保条約です。そしてこの課題を進める運動団体が求められています。「実行委員会」の取り組みを前進させ、「日米再編」・基地問題など安保条約と正面から取り組める組織に発展させたい。

(3) 今年の秋の取り組みとして、横田米軍基地視察ツアーと秋の市民集会を行いたい。

3 以上のような提案についておおむね賛成を得られましたが、さらに広く検討するために実行委員会を開き充分話し合い来年の2月をメドに新しい組織に衣替えしていくことを申し合わせました。

4 秋の取り組みについて

(1) 横田米軍基地視察ツアーと秋の市民集会の両方をおこなうのは各団体の取り組みがつまっているのではとつに絞らねばならない。「横田基地ツアー」にして秋の市民集会を来年2月の「衣替え」集会に変えたい。

(2) 横田基地ツアーは40~50名規模で、11月19日(木)で調整・企画準備を進めていくこととする。

